

都立高校における制服の自由選択制導入の推進について

1 「制服又は標準服の現状及び今後の方向性に関する調査」（令和3年12月10日）

「未来の東京」戦略version up 2022で掲げる「学びの場でのインクルーシブ」を実現する取組の一つとして、制服の自由選択を推進することとしており、都立高校における現状を把握するとともに、都教育委員会HPの記載の充実を図るため調査を実施

平成28年度

令和3年度

	制服又は標準服	なし	計	5年後	制服又は標準服	なし	計
学校数	180					182	
【内数】女子スラックスあり	93 (51.7%)	16	196		147 (80.8%)	14	196

() 内は、制服又は標準服がある学校数に占める割合

女子スラックス導入校は、**8割に！**

自由選択制導入済の学校3校
（松が谷、翔陽、桜修館中等）

※ 自由選択制とは、性別に関係なく制服（ジャケット、スラックス、スカート等）を自由に選べることを指す。

2 今後の取組

- （1）制服の自由選択制を導入している3校をPR校と位置づけ、その効果や成果等を広く周知
- （2）制服の自由選択制導入に向けた検討を進める学校（今後、希望調査を実施）へは、検討会議等へ外部有識者を招聘する場合の経費等を支援
- （3）東京都教育委員会HPの「都立高校等検索」において、これから都立高校に入学を希望する皆さんに対する情報を充実

（更新例）「制服又は標準服」の検索機能の充実

あり なし

充実

- あり（自由選択制）
- あり（女子スラックスあり）
- あり（女子スラックスなし）
- なし